

＜平成27年度における主な変更点＞

① 基盤研究（B・C）審査区分「特設分野研究」に新たに3分野を設けました。
（13頁、60頁～62頁参照）

「特設分野研究」は、審査希望分野の分類表である「系・分野・分科・細目表」（別表を含む）とは別に平成26年度公募より新たに設けられた審査区分であり、最新の学術動向等を踏まえて、新しい学術の芽を出そうとする試みを中心に、日本学術振興会の学術システム研究センターが候補分野を提案し、文部科学省の科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会において設定されるものです。

既存の細目では審査が困難と思われる応募研究課題や、設定された特設分野に関連した専門分野の審査委員により構成される審査会で幅広い視点から審査されることを希望する応募者に開かれています。

平成27年度公募では、平成26年度公募から設定した分野に加えて新たに以下の3分野が設定されました。

- ・紛争研究
- ・遷移状態制御
- ・構成的システム生物学

② 「系・分野・分科・細目表」を一部変更しました。（33頁～37頁参照）

文部科学省の科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会において審議した結果、以下のとおり変更しました。

- ・時限付き分科細目「統合栄養科学」について、分野「複合領域」分科「生活科学」、細目「食生活学」に分割Bとして追加しました。

※上記以外にキーワードの見直しを行いました。

③ 基盤研究（A・B）審査区分「海外学術調査」の審査希望分野を一部変更しました。（32頁参照）

文部科学省の科学技術・学術審議会学術分科会科学研究費補助金審査部会において審議した結果、理工の審査希望分野を変更しました。